

＜依存・回復・自律＞

当事者が一歩前へ・・・就労準備を考える

DVD付

(一社)釧路社会的企業創造協議会
櫛部 武俊

自立支援プログラム全体概要

様々な自立支援プログラム

中間的就労
と
居場所

生活保護受給世帯

就労自立

社会的自立

日常生活自立

[社会的企業]

Paid work

Unpaid work

多様な働き方
と新たな価値
の獲得

【支援】
ケースワーカー・
民生委員・パーソ
ナルサポーター
など

【支援】
地域・事業所・
関係機関
など

社会生活自立



かけがえのない私と
居場所づくり

就労自立



日常生活自立



新しいケアの試み

生活保護自立支援釧路モデルのエッセンス

- ①「ほめられたことがない」(自尊感情の気づき)
- ②「誰とも話をすることが無い。保護費もらっているだけ」
(社会とつながる気づき)
- ③「白いご飯しか食べない子ども」(社会的時間の気づき)
- ④身近な付き合い、ともだちなどに助けをもらう(資源だという気づき)
- ⑤コミュニケーション、居場所に偏っているという批判⇒「中間的就労自立」にたち、支援する側に回るという気づき

セーフティネットの概念図(大阪市立大五石先生)

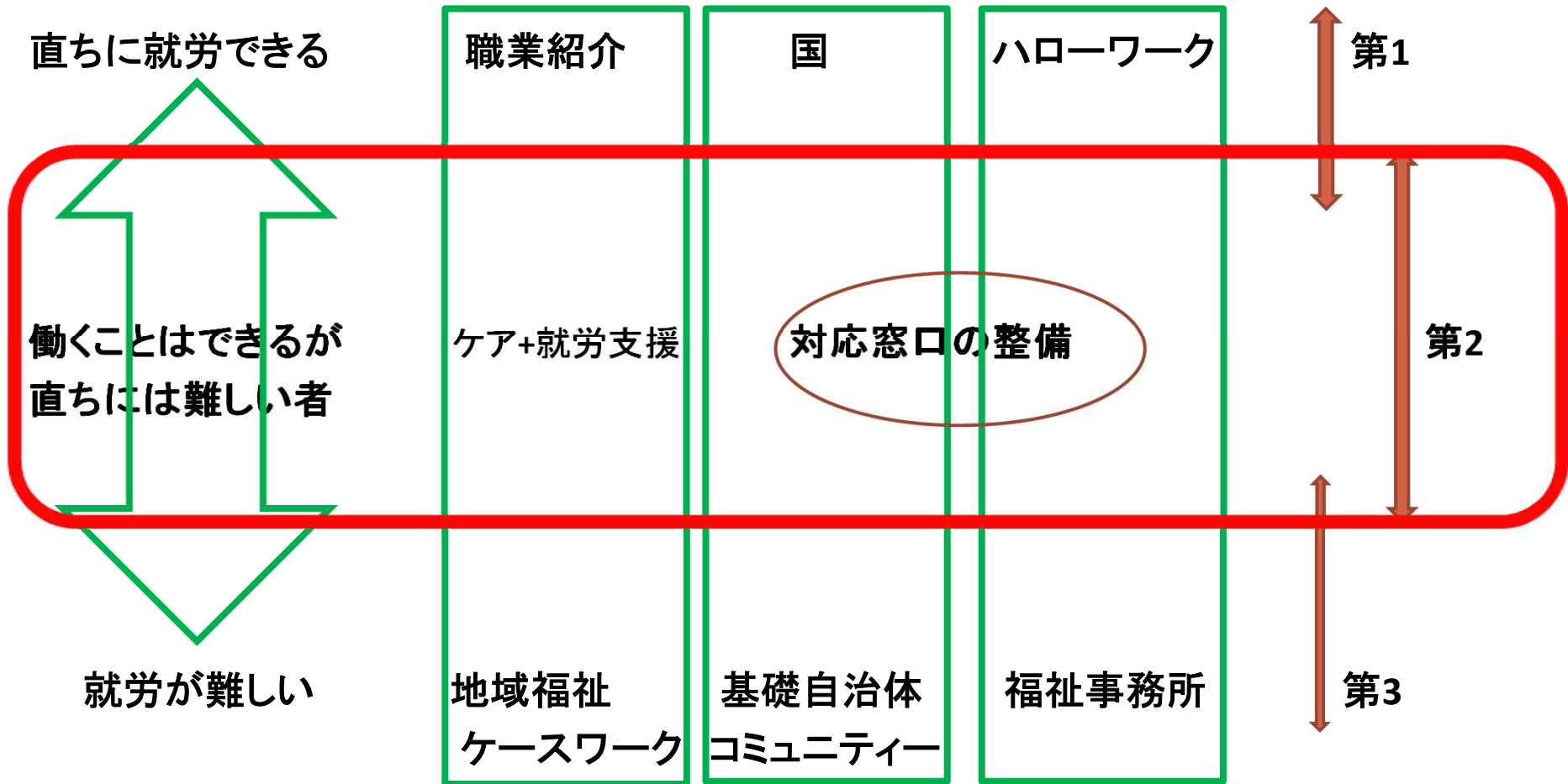
状態像

対人サービス

行政

機関

セーフティネット



就労準備活動・・・育てるエッセンス

★「生活者としての全体性」(岡村重夫)の回復・・・複合的であるからこそ仕事に就きさえすれば終わりではない・・・相談と準備の統一と区別

(自分のことで精いっぱい・立ち行かないから⇒周りがみられるへ)

☆準備活動は「居場所」(自尊・承認・役割)が基本

(一方向からの転換・時間つぶし・其々の感じ方で良い・)

○準備活動は当事者自身が自分のテンポで活動し戻りつ行きつ其々に応じた階段や踊り場が必要・・・「あるのは向き不向きの有る無し・・・失敗は無い」

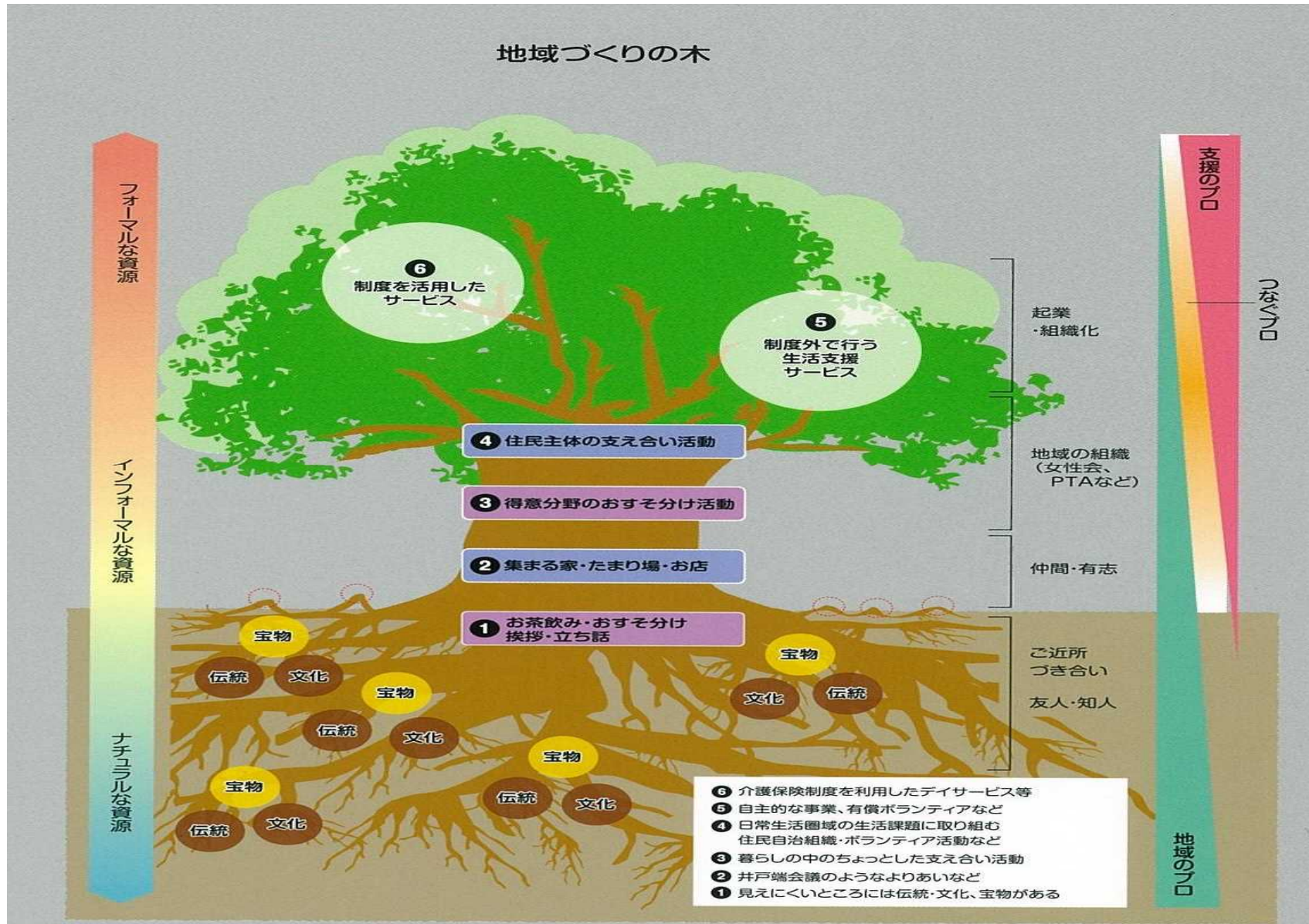
☆準備活動メニューは「一般就労からボランティアまで」柔軟に

★メニューはオーダーメイド、展開は寄り添う個別と場づくりで

○相談センター職員や就労準備職員とともに利用する当事者同士の関係づくり、同僚性を育てる視点

○当事者は利用者であるとともに支援者になりうるという視点をもつ。同時にそれは半就労・半福祉を含む自立のありかたでもある。

★こうしたことが地域の友だちやつながりなど資源との関係を作りながらとりくまれること・・・「あーだろうこーだろうと予測しては足がでない」「相談支援の要望に応えたい」



- CLC 生活支援コーディネーター養成テキストから抜粋

～誰もがはたらきやすい社会をめざして・・・～

<平成28年度就労準備支援事業従事者養成研修150728>



本人の状態像に応じた支援のあり方

NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば
副理事長 平田智子

特定非営利活動法人 ユニバーサル就労ネットワークちば

・沿革

2007年から風の村や虹の街（生活クラブ生協）などで実施していた独自システムのユニバーサル就労の効果を実感している団体や個人が集まり、受入れる事業者や当事者や支援者などの立場で意見を出しあい、この就労システムを社会化するために、2012年1月に任意団体ユニバーサル就労ネットワークちばを設立。より充実した活動ができるよう2014年5月にNPO法人化することを決定。同年10月千葉市より、特定非営利活動法人の認証を受ける。



特定非営利活動法人 ユニバーサル就労ネットワークちば

• 目的

この法人は、多くの企業・団体がユニバーサル就労の理念に賛同し、ユニバーサル就労が全国各地に広がることを目指す。そのため、就労を希望する方々がよりよい選択をし、自身の持つ可能性や能力を最大限に生かせるよう伴走型支援を行う。また、ユニバーサル就労をすすめていく企業・団体が取り組みを継続していくことが出来るよう支援する。これらの活動を通じて、誰もが当たり前前に社会参加できるユニバーサルな地域社会作りを目的とする。



特定非営利活動法人 ユニバーサル就労ネットワークちば

・ 事業内容

①ユニバーサル就労の推進に関わる事業

- ・ユニバーサル就労希望者の総合受付
- ・**ひきこもり支援事業（千葉市・浦安市）**
- ・コーディネーターの養成（養成講座の実施）
- ・ユニバーサル就労の出口としての事業開発・設立支援

②生活困窮者自立支援法に係わる事業

- ・**生活困窮者自立支援法 就労準備支援事業（千葉市、松戸市）**

③会員団体を支援する事業

- ・会員団体のネットワークづくり・相互協力の推進

④ユニバーサル就労に関する研究および広報・啓発に関わる事業

⑤ユニバーサル就労に関する職業紹介事業

- ・企業へのアテンド（職業紹介）



ユニバーサル就労とは…

対 象：生活困窮者、ニート・ひきこもり、障害者手帳の有無に関わらず、様々な理由で働きづらい状態にある人を職場に迎え入れ、ともに働くことを目指します。

働き方：一般の雇用形態になじみづらい人でも、短時間や週一回から、事情や個性に合わせた多様な働き方を作り出します。

コミュニーターとして居場所や生きがい

雇用

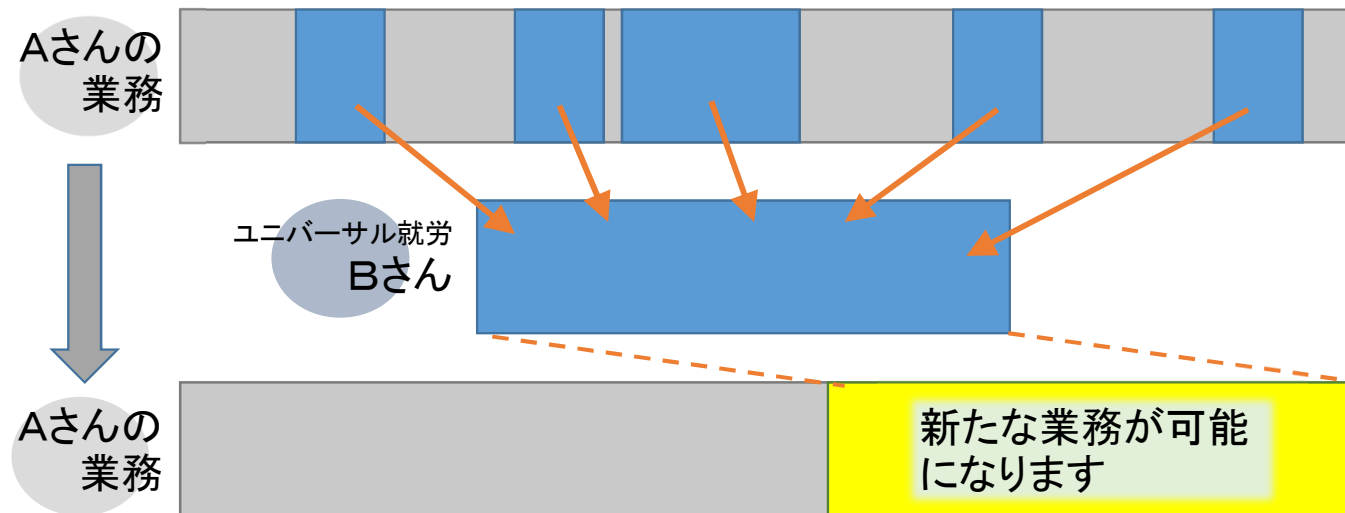
働く人の事情に合わせて形態や報酬を提案します



受け入れのための業務分解

①しごとを分解することで新たな業務が可能になります

- ユニバーサル就労受け入れのために、現在の業務内容をすべて分解する
- 分解した業務のうち、ユニバーサル就労の方に合わせたしごとを見つける



受け入れのための業務分解

業務分解シート【日】《介護》（参考：小規模多機能型居宅介護（通所、泊まり）シフト）

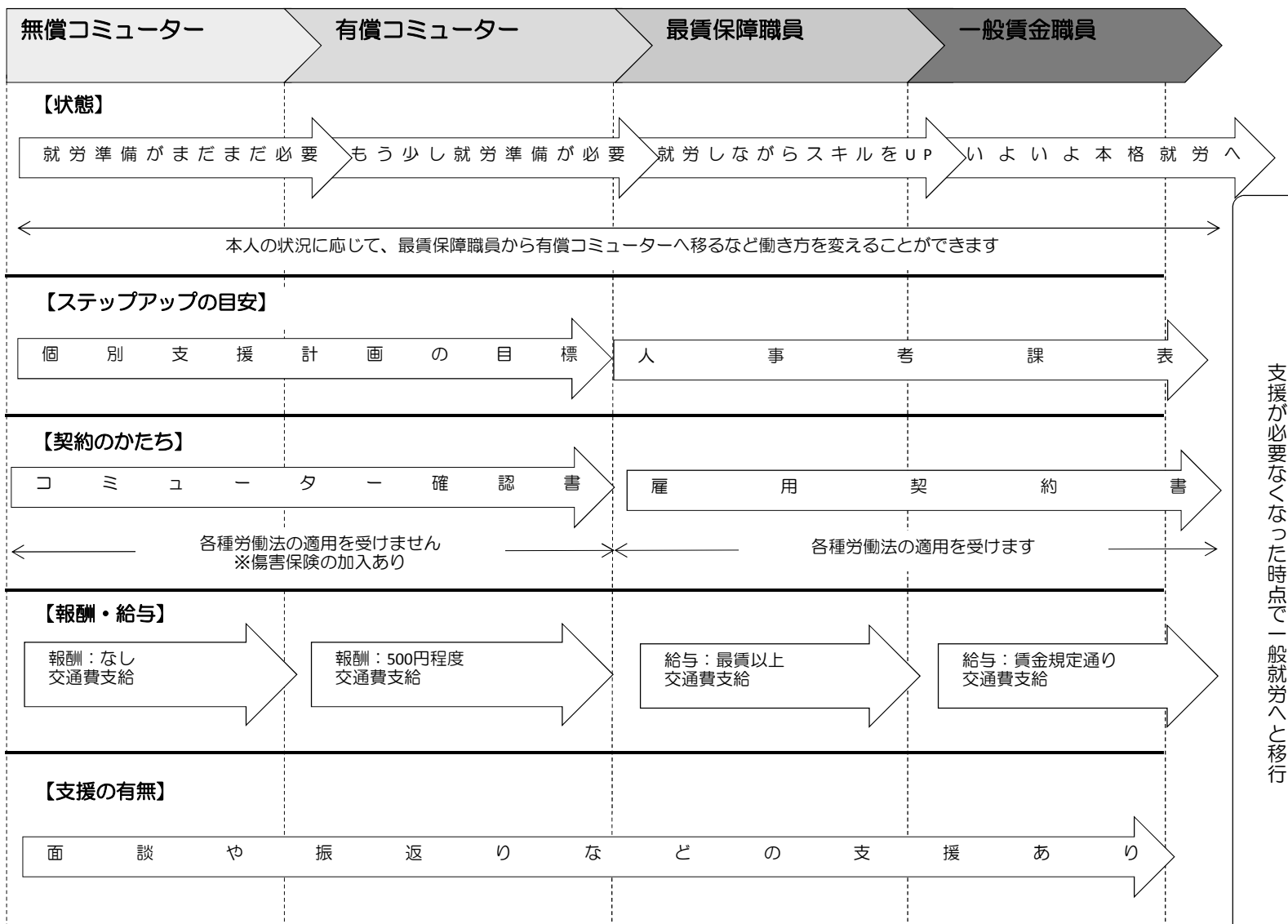
早番（1人）				日勤①（1人）				日勤②（1人）				
7:00～13:00				8:30～17:30				8:30～17:30				
時間	業務名	しごと内容	所要時間	時間	業務名	しごと内容	所要時間	時間	業務名	しごと内容	所要時間	
7:00	引継ぎ	夜勤より	5	7:00								
	モーニングケア	整容	10									
		着替え	15									
		口腔ケア ★	10									
		排泄ケア ★	20									
8:00	朝食	茶くみ	10	8:00								
		配下膳	5									
		見守り、声かけ	35									
		食事介助 ★										
		記録	10	30	申し送り							
					送迎	車の運転 ★				車の運転 ★		
					フロア対応	おしぼり作成	10			フロア対応	おしぼり作成	10
9:00	居室清掃	シーツ交換	30	9:00		迎え				迎え		
		床掃き、拭き				見守り				見守り		
		棚拭き	5			移乗、誘導 ★				移乗、誘導 ★		
		シンク洗面台	5		バイタルチェック	チェック ★	10			バイタルチェック	チェック ★	10
	トイレ清掃	床拭き	5			記録	10			記録	10	
		便器掃除	5		体操	環境整備	5			体操	環境整備	5
10:00	フロア清掃	床掃き、拭き	10	10:00		指導 ★				指導 ★		
		棚拭き	5			見守り				見守り		
		テーブル・椅子拭き	5		水分補給	準備、コップ洗い	10			水分補給	準備、コップ洗い	10
	洗濯	布団干し	10			渡し				渡し		
	その他清掃	ゴミ集めや分類	10			記録	5			記録	5	
	送迎	車の運転 ★			入浴	湯ため、片づけ	10			入浴	湯ため、片づけ	10
	フロア対応	移動介助 ★		11:00		衣類準備	5			衣類準備	5	
		見守り、声かけ				入浴介助 ★	20～30			入浴介助 ★	20～30	

<表内色分け>

- 人と接するしごと
- 力を使うしごと
- 軽作業
- PC(入力系)
- PC(上記以外)
- PC以外の事務補助、事務作業

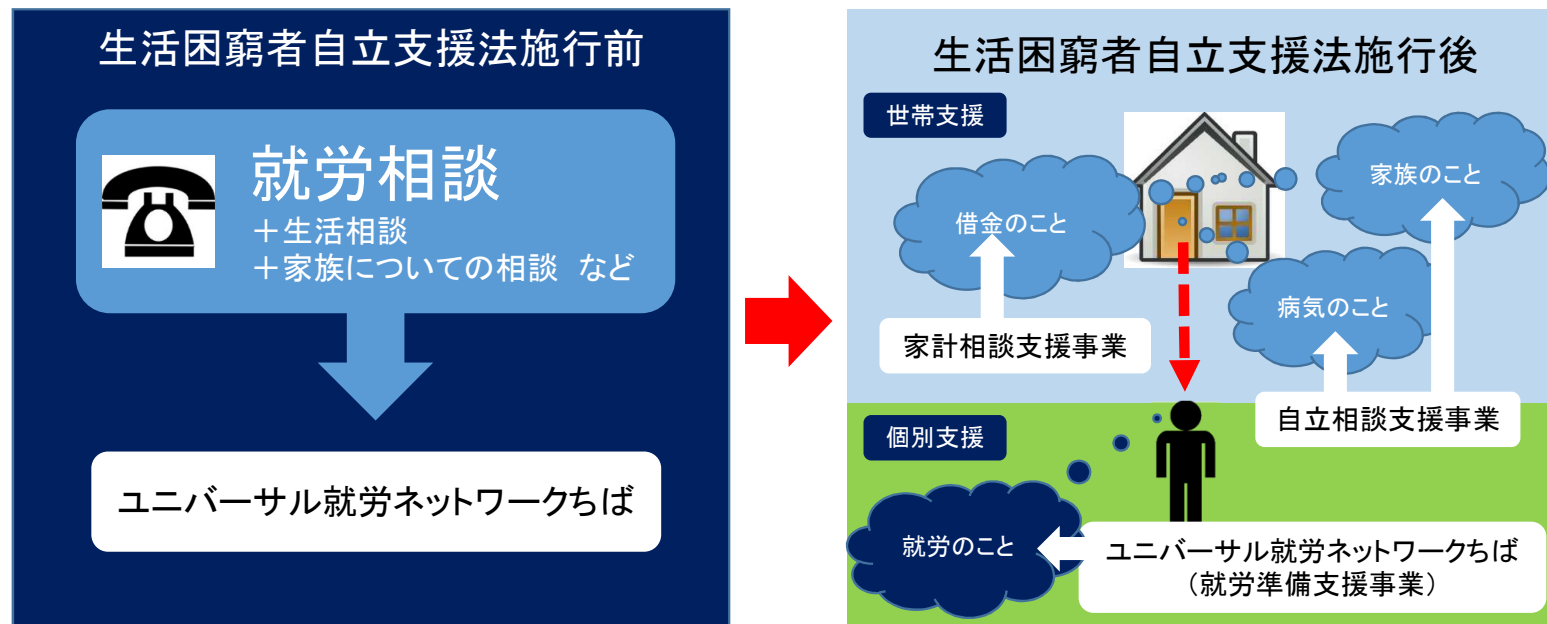
★スキル、経験が必要なしごと
※経験が必要な場合あり

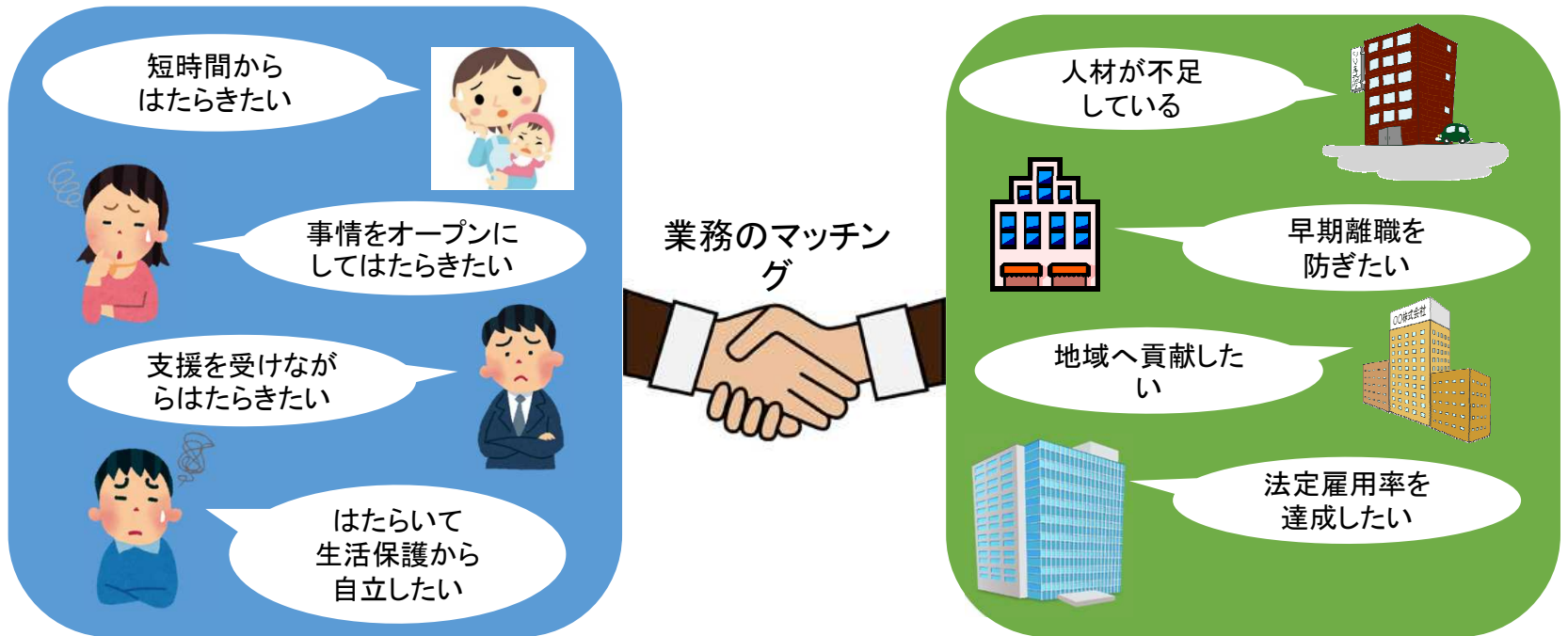




支援がなくなった時点で一般就労へと移行

ユニバーサル就労総合相談窓口の変化



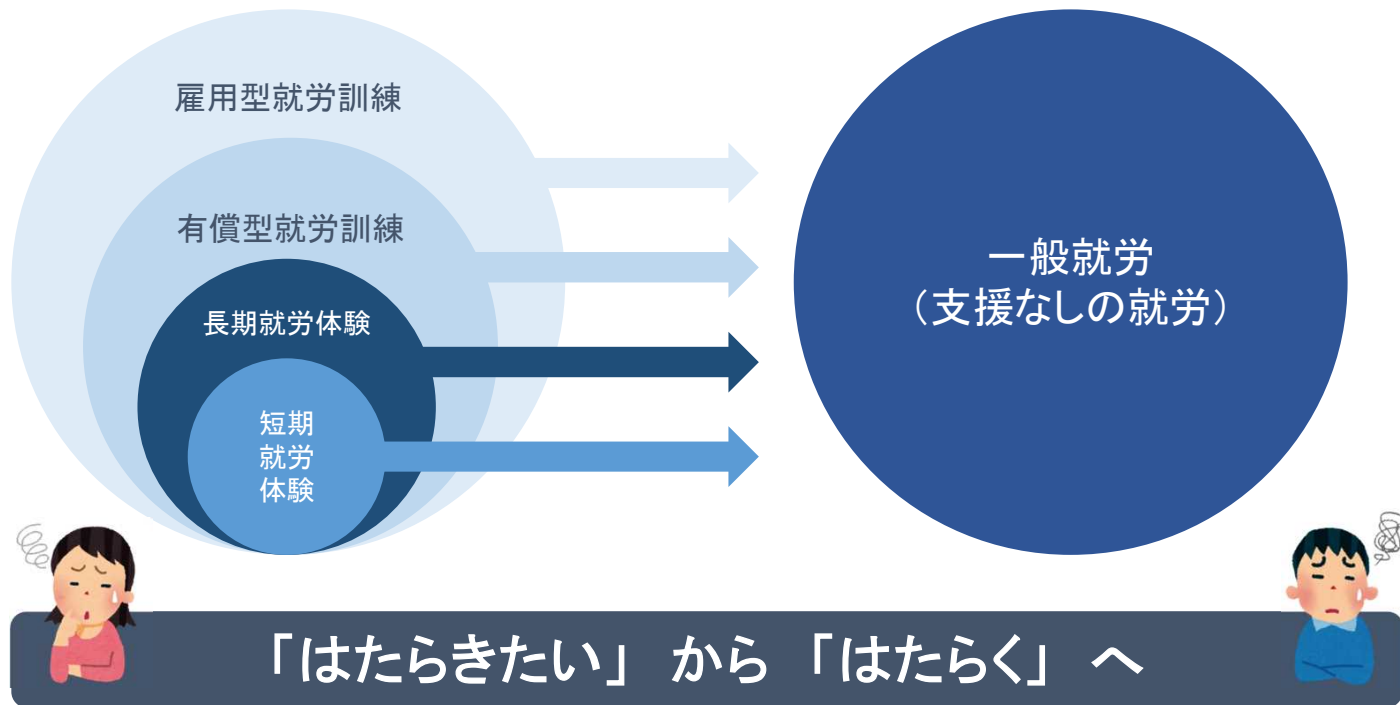


状況の把握・希望する仕事の把握等

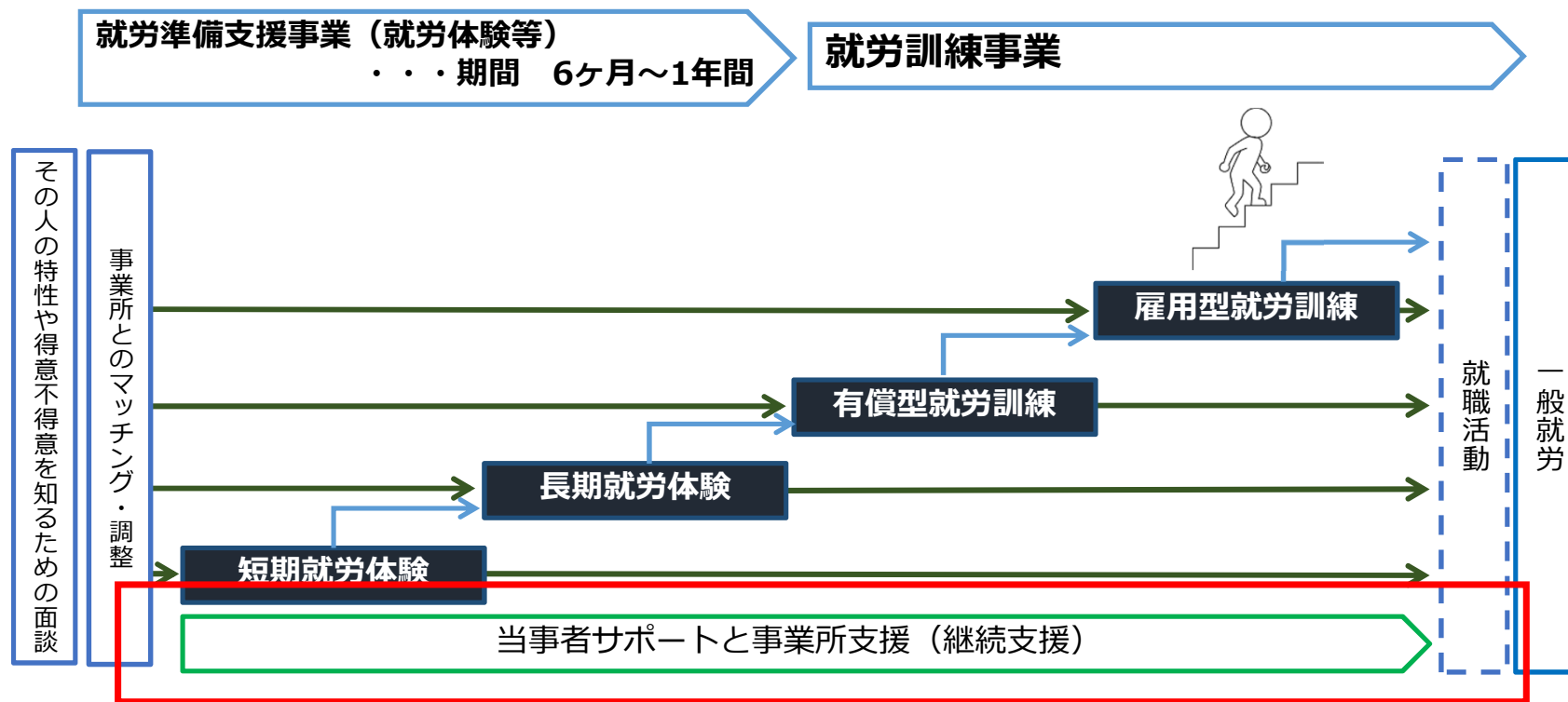
業務分解、就労体験、就労訓練事業のご提案

特定非営利活動法人ユニバーサル就労ネットワークちば

『支援付き就労』という価値



生活困窮者自立支援法と支援付き就労について



生活困窮者自立支援法関連事業

千葉市

- ・ 就労準備支援事業（常勤 2 名）
- ・ ひきこもり地域支援センター（常勤 2 名）

松戸市

- ・ 就労準備支援事業（常勤 2 名）
- ・ 被保護者就労準備支援事業（常勤 2 名）

浦安市

- ・ ひきこもり相談事業（2 名/週 2 日）



千葉市事業：人口97万人

就労準備支援事業（常勤2人）

- ・ 応援ネットワーク千葉企業体の一員として就労準備支援事業を担当

ひきこもり地域支援センター（常勤2人）

- ・ 政令市としてひきこもり地域支援センターを開設

応援ネットワーク千葉企業体
(NPO) ユニバーサル就労ネットワークちば
労協船橋事業団、
(NPO) VAIC-コミュニティケア研究所
生活クラブ生協ちば

- ・ 自立相談事業(稲毛区)
労協船橋事業団
- ・ 農業等就労・社会体験支援事業および
就労準備支援事業(市内全域対象)
ユニバーサル就労ネットワークちば(2人工)
労協船橋事業団(1人工)
- ・ 家計相談支援事業(市内全域対象)
VAICコミュニティケア研究所
生活クラブ生協千葉

千葉市就労準備支援の流れとメニュー

就労準備支援は「応援ネットワークちば企業体」という共同事業体で実施をしており、構成団体の得意分野を活かして就労準備を進めていきます。

千葉市生活自立・仕事相談センター

中央の相談者

千葉市生活自立・仕事相談センター

稲毛の相談者

【面談・アセスメント・プランニング】 自立相談担当者より面談の設定。
各センターやNPO法人ユニバーサル就労ネットワークちばの事務所で実施



【通所型支援プログラム】
必要に応じて職場に入る前に生活を整えたり、コミュニケーションの練習や簡単なビジネスマナー、体験型活動などを組み合わせた支援を実施します。



【マッチング・職場や体験場所の見学】
初回面談での課題や設定した目標に応じて就労体験場所の選定を行い、職場見学や現地の担当者の方とお話いただき、就労（体験）場所を決定していきます。





【就労準備支援プログラムの作成・就労体験・就業の開始】

1か月ごと（必要に応じて頻度は変わります）に活動の振り返りを行いながら、新たに出た課題の整理や目標に対してどれくらい達成できたか共有していき、**プログラムの内容**を確認していきます。

就職活動へ

★希望者には履歴書の添削や面接練習、キャリア相談全般を実施

そのまま就業へ

これまでの就労準備の経験をもとに、今後の方針を自立相談員の方と話し合いながらその先のステップへと進みます。

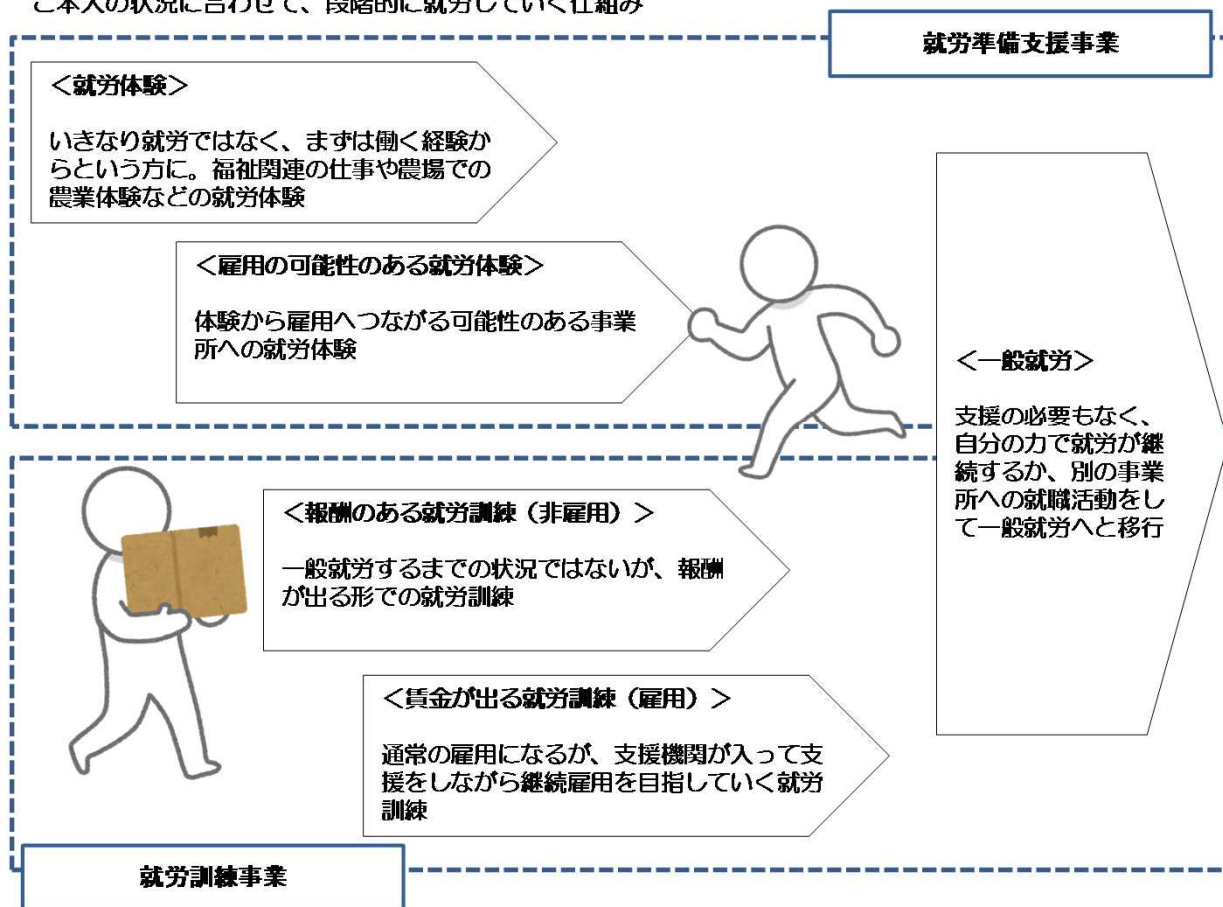
通所型支援プログラム
パソコンの練習、ポスティング
SST(ソーシャルスキルトレーニング)
ボランティア活動、ヨガ、ストレッチ
チラシ折込作業 等

どのようなプログラムを組み合わせていくかは、自立相談員や就労準備担当者と一緒に相談をしながらプランを立てていきましょう！



【職場実践型就労支援について】

ご本人の状況に合わせて、段階的に就労していく仕組み



これまで受け入れ実績のある職種一覧

介護、介護補助、調理補助、店舗清掃作業、店舗バックヤードでの袋詰め・品出し等、障害者施設での作業補助、農場での整備作業、生協配送センターでの倉庫内作業、配送業務のトラック添乗、保育補助、児童指導員補助、洗濯、事務、事務補助

就労支援担当者の役割

自立相談支援事業

- トータルなプラン化・就労準備支援の見きわめ（長期的なゴール）
- 面談から変化を察知し、プランの見直し、変更
- ハローワーク（同行）と連携し就労先の開拓
- 就労訓練事業（いわゆる中間的就労）の企業開拓
- 地域資源の創出・開拓

就労準備支援事業

- 就労支援プログラムの作成（多様なバリエーション）
- 伴走型のプラン実施（就労体験、補足ワーク、通所）
- 面談から変化を察知し、プランの見直し、変更
- 就労準備（職場実習）の企業開拓

連携支援



実習先の開拓（就労訓練事業も…）

- 説明資料を作成し、組織トップへの説明
- 組織依頼先
 - 千葉県社会福祉法人経営者協議会
 - 千葉県知的障害者協会
 - 中小企業家同友会など
- 短期就労体験説明会の開催案内を郵送し、個別に電話で説明、感触がよければ実習依頼。
- 事業所を訪問して、直接説明、依頼
- 作成した説明ツール
 - 短期就労体験受け入れご協力をお願い（11ページ）
 - 就労訓練事業のご紹介、中間的就労の手引き



～誰もがはたらきやすい社会をめざして・・・～



短期就労体験受け入れ ご協力のお願い

千葉市生活自立・仕事センター中央/稲毛
(NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば)

Copyright ©

このような方が就労体験を希望しています

何らかの事情により就労経験が浅い、あるいはブランクがある等が多く、就労体験をすることは本人の就労イメージを明確にするための必要なステップとなります。

大学時代に仕事が見つからず、そのまま引きこもるようになってしまったが、このままではいけない。何とかしたいが、何かからはじめるべきか…。(20代男性)

IT企業で12年働いていたが、過重労働と上司のパワハラで退職してしまった。5年ほど動くに動けず、今に至ってしまった。両親も高齢だし、なんとか仕事を見つけないか、ハローワークに行ってもなかなか見つからない…。(40代男性)

清掃の仕事をしていて、体調を壊し退職。1年半療養して復帰したいのだが、ブランクがあるので、仕事が見つからない。このままでは生活できなくなってしまう。体力も少し落ちているので、就労体験からはじめたい…。(40代・女性)



※大変はじめ、実直で、誠実に仕事に取り組みれてきた方が多く、そのためにトラブルに巻き込まれたり、うまく対人関係を処理することができなかった方が多いという印象です。

Copyright © 2015 Universal Work Network CHIBA

2

20

千葉県就労準備支援事業実績 2016年4月～8月

		4月	5月	6月	7月	8月	合計
新規プラン決定数		2	1	3	2	1	9
更新プラン決定数		0	1	0	2	2	5
相談		27	30	34	28	29	148
打合せ		16	18	34	31	33	132
同行		7	6	2	4	2	21
事業所開拓	回数	2	9	11	6	3	31
	実績	0	7	0	1	1	9
補足ワーク		10	10	9	9	1	39
就労体験	法人内	10	4	14	14	24	66
	短期	5	6	22	8	10	51
	寄宿型	0	0	0	0	0	0
通所型支援		30	35	40	30	25	160
合計		109	127	169	135	131	671



千葉市ひきこもり支援地域支援センター事業実績

2016年4月～8月

相談総数 966			
初回相談 94	継続相談 562	問合せ 212	その他(無言含む) 98
電話 757	来所 174	訪問 25	その他(メール等) 10
家族 439	本人及び家族 27	本人 121	その他(内無言) 378(97)



生活困窮者自立支援法関連事業（松戸市：人口49万人）

松戸市就労準備支援室として、市役所近くに事務所を設け、以下の2事業を常勤4人、非常勤1人で一体的に運営。法人の特色である職場実践型の就労支援とあわせて、グルークワーク・各種職業検査等を実施。

- ・ **就労準備支援事業（常勤2人）**
- ・ **被保護者就労準備支援事業（常勤2人+非常勤1人）**



松戸市就労準備支援室の当事者像について

- 30-40代の男性が7割であり、ほとんどが高卒。
- 就労経験がある方が多いものの、さまざまな理由により長期ブランクがあり仕事を探しても見つからない状況が続いている。
- できれば自宅近くの松戸市で働きたい。（現在はなかなか就労訓練ができる場所が松戸市では少なく、柏や東京で訓練を行っている人も）
- いきなりフルタイムではなく、少しずつ心身を慣れさせながら雇用に繋がっていききたい。

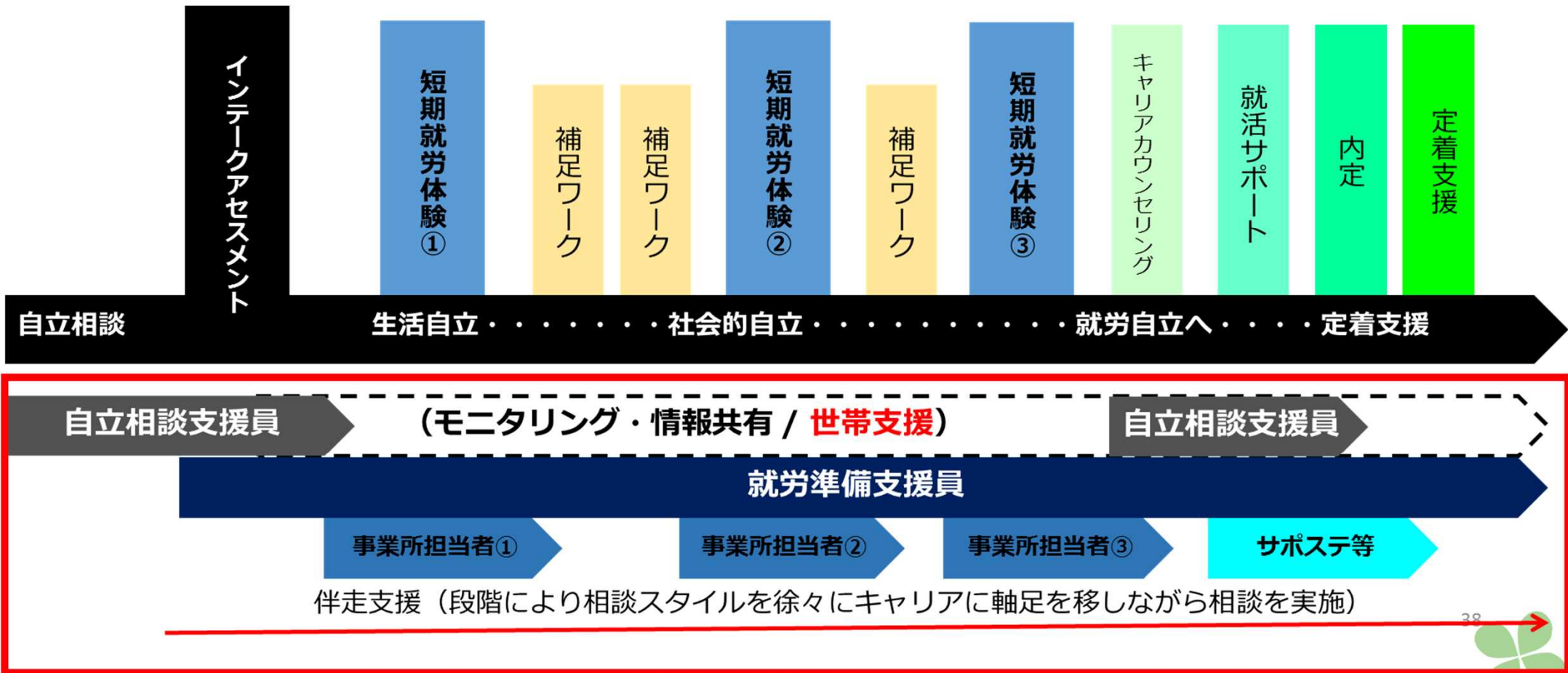
→（さまざまな理由）リストラ、親の介護、いわゆる“ブラック企業”で就労したため体調を壊す、事業の失敗、人間関係のトラブルが原因となり次の一歩が踏み出せなくなる…etc…



困ったときに相談できる人がいなかったことにより、孤立度を深め、その状況を乗り越えることができなかった。



松戸市就労準備支援事業の流れ



松戸市の就労準備支援の特徴①

対象者に合わせた検査を複合的に実施

<スタートアップ>

自分の能力がわからない、何に興味があるのかわからない。これまで働いたことがない、など職業観等が定まっていない人が多く、以下の検査を実施する事例が増えている。

検査名	内容
職業レディネス・テスト（VRT）	自分の職業の興味関心の傾向を知る検査。検査結果をワークシートに書き込んでいくので、結果が分かりやすい。就労経験ない人や若者に。
キャリア・インサイト	上記の興味関心の検査と同時に、適性検査がある。就労経験がある人の振り返りとして、また過去の職業エピソードを掘り起こすツールとして。
幕張ワーク・サンプル （プラグ・タップ組み立て検査 /OA検査）	本来は障害者職業センターで活用されるものだが、健常者でも利用が可能であることと、実際に作業しながら能力を見ることが出来る。自然観察法。GATBとのあわせ技で説得力が出る。
GATB検査（一般職業適性検査）	9つの「適性能（知的能力、言語能力、数理能力、書記的知覚、空間判断力、形態知覚、運動共応、指先の器用さ、手腕の器用さ）」を測定。客観的に能力を測ることができ、能力の差をはかりやすい。信頼度が高い。

職業検査をする意義

(1) 他者との接点が少ない、あるいは断絶しているため客観的な自己評価ができていない。またキャリアガイダンスをこれまで受けたことがないなど、**職業観が未完成の対象者がほとんど**。

(2) **発達障害等の疑いがあるが、自己認識がない場合**、客観的な検査の結果が**本人を動かすきっかけ**となる。(相談員の“直感”では限界がある)

(3) 検査を通して、これまで忘れていたエピソードを思い出すきっかけとなり、振り返りでそれを掘り起こしていくことで自己評価が少しずつできるきっかけとなる。



松戸市の就労準備支援の特徴② グループワーク

- ・個別支援、職場実践型が特徴のプログラムだったが、生活保護受給者支援開始時に、すぐに限界を知る。直接的な仕事に関するグループワークは拒否感が強いため、相談の中で出てきたニーズから以下のグループワークを実施し始めたばかり（8月中旬～）

＜農業体験＞

外に出る機会を設けること、自然の中で身体を動かすこと、仕事をする側面も。

＜隔週1回、2時間＞

＜料理会＞

買出し～調理～食べる～片付けまでの共同作業。誰でも参加しやすい。

＜隔週1回、4時間＞

＜2min.トーク＞

簡単なお題を少人数の前で少し話をする。他者接触の機会を増やす。

＜隔週1回、1.5時間＞

＜ナラティブ＞

ナラティブアプローチの手法を使ったグループワーク。人生を肯定的に捉える。

＜月1回開催予定＞

理解のある事業所からのポスティングの仕事を有償で請け負う予定。単価契約＋交通費で支給。交通費支給にするとモチベーションが高い。（隔週2回、2時間～実施予定）



松戸市中間的的就労説明会

「中間的就労」導入説明会

～人材確保のひとつとして「中間的就労」を導入しませんか？～

<開催日>

7月13日(水) 13:30～17:00

介護・保育・児童・学童・清掃等 事業所様向け

7月14日(木) 13:30～17:00

物流・工事・販売・保安等 事業所様向け

<会場>

松戸商工会議所 4階 中会議室

<共催> 松戸市・NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば

<後援> 松戸商工会議所・松戸市社会福祉協議会

中間的就労に興味のある支援機関や団体の皆様、一般の方もご参加いただけます！

日本の労働力の減少は、今後の超高齢化社会、少子化を背景に一気に加速すると考えられ、2060年には人口が9000万人を割り込み、65歳以上が4割以上、75歳以上が人口の1/4を超えるとの推計データ（総務省統計局人口統計（2015年6月1日確定値））も出されており、人材確保はどの業界にとっても喫緊の課題となっており、柔軟な発想力に基づく多様な働き方の創造が推進されています。

本説明会では多様な働き方のひとつである「中間的就労」を導入することにより、より多くの人々に労働の機会を与え、職場にとっては人材確保の一助となる手法をご紹介したいと考えております。

また、「中間的就労」は現在、日本における貧困対策制度のひとつである「生活困窮者自立支援制度」の「就労訓練事業」と位置づけられており、長期プランなどで働く機会を失っている方々が再度就労する機会提供として全国的に注目されており、松戸市においても導入が進められています。

ぜひ、この機会に「中間的就労」を知っていただき、導入をご検討いただければ幸いです。

中間的就労とは…

中間的就労は、様々な事情を抱え、すぐには一般就労ができない方々のための就労スタッフのひとつとして捉えられてきましたが、近年は「人材確保の手法」「支援つき就労」という形で、多くの事業所で「戦力」として捉え入れられています。

<千歳での事例：NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちばが推進する中間的就労のモデル>

希望者へすぐに「雇用」するのではなく、まずは実習期間（無償コミューター）や研修を得ながら（有償コミューター）マッチングを行います。各段階において、支援団体と一緒に「支援計画書」を作成し、一定程度のレベルに達した段階で「雇用」へと進みます。雇用の段階でも、「履歴保障職員」「一般資金職員」という段階を設定し、スキルアップとともに事業所の資金規定に合わせた雇用へと進んでいきます。

無償コミューター → 有償コミューター → 履歴保障職員 → 一般資金職員

上記の中間的就労は「認定就労訓練事業所」として自治体から認定を受けた事業所が活用することができ、また、認定を受けた一部の事業所（社会福祉法人等）は税制上の優遇措置などが受けられます。また、導入や支援にあたっては、支援団体が本人、受け入れ事業所のサポートを実施いたします。

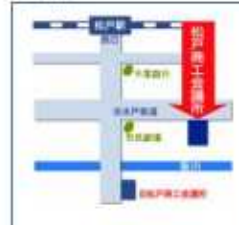
説明会では、中間的就労の仕組みの詳細や、各分野で既に導入を進められている事業所や、様々な事情を抱えた方々を積極的に雇用されている事業所の方々に事例紹介をしていただきながら、具体的な導入イメージを持っていただきたいと思います。ぜひ、この機会にご参加ください！

※参考 就労訓練事業に関するパンフレットは以下、厚生労働省のホームページ（下掲）からダウンロードできます。
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000073432.html

※プログラムは講師の都合により、変更になる可能性があります。予めご了承ください。

7月13日(水)、14日(木) 共通プログラム					
時間	内容				
13:00～13:30	受付				
13:30～13:40	開会挨拶				
13:40～14:00	「生活困窮者自立支援制度と松戸市の求職者の状況について」				
14:00～15:20	「中間的就労の仕組みと導入に向けて」				
15:20～15:35	休憩・会場移動・スライドショー上映				
15:35～16:30	<table border="1"> <thead> <tr> <th>7月13日(水)</th> <th>7月14日(木)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 第1分科会：介護事業関係 (1) 社会福祉法人 常盤会 - 特別養護老人ホーム ときわ荘での実践 (2) 株式会社 生活学習舎 - ライフ&シニアハウス日暮里での実践 (3) 社会福祉法人 生活クラブ風の村 - 複合型介護施設（和光光ヶ丘）での実践 ※質疑応答 第2分科会：保育・児童学童・清掃関係 (1) NPO法人 VAC コミュニティア研究所 - 子育て支援施設での実践 (2) 日本労働者総合組合連合会センター 東京部 東京本部事業本部 - 学童での実践 - 清掃現場での実践 ※質疑応答 </td> <td> 第1分科会：農業・製造・建設事業関係 (1) 有限会社 新田屋敷 - 一般・産業廃棄物処理業務における実践 (2) 一般企業事業所での事例紹介 - 工事事業所における実践 (3) 生活クラブ風の村 - 養豚内作業業務における実践 ※質疑応答 第2分科会：サービス・販売・保安事業関係 (1) 生活クラブ風の村 - スーパーマーケットでの実践 (2) 株式会社 たむら - 衣料販売現場での実践 (3) 株式会社 パトロール株式会社 - 警備現場での実践 ※質疑応答 </td> </tr> </tbody> </table>	7月13日(水)	7月14日(木)	第1分科会：介護事業関係 (1) 社会福祉法人 常盤会 - 特別養護老人ホーム ときわ荘での実践 (2) 株式会社 生活学習舎 - ライフ&シニアハウス日暮里での実践 (3) 社会福祉法人 生活クラブ風の村 - 複合型介護施設（和光光ヶ丘）での実践 ※質疑応答 第2分科会：保育・児童学童・清掃関係 (1) NPO法人 VAC コミュニティア研究所 - 子育て支援施設での実践 (2) 日本労働者総合組合連合会センター 東京部 東京本部事業本部 - 学童での実践 - 清掃現場での実践 ※質疑応答	第1分科会：農業・製造・建設事業関係 (1) 有限会社 新田屋敷 - 一般・産業廃棄物処理業務における実践 (2) 一般企業事業所での事例紹介 - 工事事業所における実践 (3) 生活クラブ風の村 - 養豚内作業業務における実践 ※質疑応答 第2分科会：サービス・販売・保安事業関係 (1) 生活クラブ風の村 - スーパーマーケットでの実践 (2) 株式会社 たむら - 衣料販売現場での実践 (3) 株式会社 パトロール株式会社 - 警備現場での実践 ※質疑応答
7月13日(水)	7月14日(木)				
第1分科会：介護事業関係 (1) 社会福祉法人 常盤会 - 特別養護老人ホーム ときわ荘での実践 (2) 株式会社 生活学習舎 - ライフ&シニアハウス日暮里での実践 (3) 社会福祉法人 生活クラブ風の村 - 複合型介護施設（和光光ヶ丘）での実践 ※質疑応答 第2分科会：保育・児童学童・清掃関係 (1) NPO法人 VAC コミュニティア研究所 - 子育て支援施設での実践 (2) 日本労働者総合組合連合会センター 東京部 東京本部事業本部 - 学童での実践 - 清掃現場での実践 ※質疑応答	第1分科会：農業・製造・建設事業関係 (1) 有限会社 新田屋敷 - 一般・産業廃棄物処理業務における実践 (2) 一般企業事業所での事例紹介 - 工事事業所における実践 (3) 生活クラブ風の村 - 養豚内作業業務における実践 ※質疑応答 第2分科会：サービス・販売・保安事業関係 (1) 生活クラブ風の村 - スーパーマーケットでの実践 (2) 株式会社 たむら - 衣料販売現場での実践 (3) 株式会社 パトロール株式会社 - 警備現場での実践 ※質疑応答				
16:30～16:40	閉会挨拶（各分科会会場にて）				

<会場案内>



松戸商工会議所（会場）松戸市松戸 1879-1
（南側側・新成成ビル）松戸駅 西口徒歩8分

<本説明会に関するお問い合わせ先>

NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば 松戸市就労準備支援室

担当 南里・栄山

TEL 047-712-0135 Mail info@uwnchiba.net

住所 松戸市根本 330-2 モリゼンビル 506

<松戸市担当課>

松戸市福祉長寿部生活支援一課

生活困窮者担当 047-366-7349

お申し込みは別紙のお申し込み紙を FAX でお送りください！

FAX 047-701-5304（松戸市就労準備支援室宛）

※定員になり次第、締め切りとなりますので、お早めにお申し込みください。

●業界別に分科会をもうけて事例紹介を実施し、2日間に分けて開催

●集客は新規事業所開拓を狙うため、帝国データバンクでリストを購入。松戸市のみならず、東京を含めた通勤圏に配布

→ハローワークなどからリストがもらえれば尚良かった。



松戸市中間的就労説明会



- 新しくコンタクトできた事業所が25カ所、うち、**導入を具体的に検討したい、興味があると回答した事業所が20ヶ所**と、前向きに検討していただける事業所が多かった。業界としては介護が多い。
- 当日は支援機関の方々にもご参加いただき、就労訓練事業の理解を深めていただき、総参加者数は89名



松戸市就労準備支援事業実績 2016年4月～8月

	4月	5月	6月	7月	8月	合計
総支援者数	9	12	12	11	10	—
プラン決定数	1	3	0	0	0	5
未プラン(説明のみ)	2	0	0	0	0	2
未プラン(単発相談、適性検査)	1	0	0	0	0	1
プラン中断・終結	0	3	0	0	1	4
相談件数	29	28	30	14	19	120
打合せ	16	18	27	24	24	109
同行	4	4	5	9	3	25
就労体験	2	7	4	0	0	13
事業所開拓	5	5	4	56	1	71
就労体験受入決定件数	10	8	1	1	0	20
就労決定者数	2	0	1	1	0	4



生活困窮者自立支援法関連事業（浦安市：人口18万人）

浦安市生活困窮者自立支援事業の自立相談事業の一部としてひきこもり相談事業を7月から開始。市役所社会福祉課自立相談事業の一部として相談事業を週2日2人体制（火曜日、木曜日）実施。モデル事業を含み、自立相談記録シートでひきこもりにチェックのある人への電話かけ。市政だよりにて広報し、新規相談の対応

浦安市ひきこもり相談事業実績 28年7月～8月（16日稼働）			
相談総数 73			
初回相談 16	継続相談 31	問合せ 17	その他 0
電話 53	来所 17	訪問 0	その他（メール等） 3
家族 44	本人及び家族 8	本人 0	その他 21



就労支援事業に取り組む意義

- ▶生活困窮者自立支援法を生かすための必要不可欠な要素
⇒相談の出口としての就労
- ▶自立相談の相談者は、ハローワークで就労が決まるケースは、まれ。段階的な就労支援で相談者のモチベーションを上げられるのは、就労準備支援・就労訓練の醍醐味⇒まじめに取り組む人材の確保
- ▶職場実践型就労支援は、受入れ企業のメリットも大⇒事業や職場の質の向上や人材確保にも役立つ、人材を見きわめて採用できる
- ▶企業開拓を進めて、就労場所の業種を増やすことは就労支援としては、必須[就労体験～就労訓練（非雇用型）～就労訓練（雇用型）]
- ▶高齢者の就労支援…あと3万円、5万円稼ぎたい…を実現するために



～誰もがはたらきやすい社会をめざして・・・～



「働く」から「はたらく」へ

～わたしは会社ではたらいています～

より多くの人がある人なりのはたらき方で社会参加できる
ユニバーサルな地域社会づくりをめざしています



Copyright © 2015 Universal Work Network CHIBA



名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター名駅 就労準備支援事業の取り組みについて

～オーダーメイド支援と自己肯定感の向上を目指して～



平成28年9月27日

名古屋市仕事・暮らし自立サポートセンター名駅

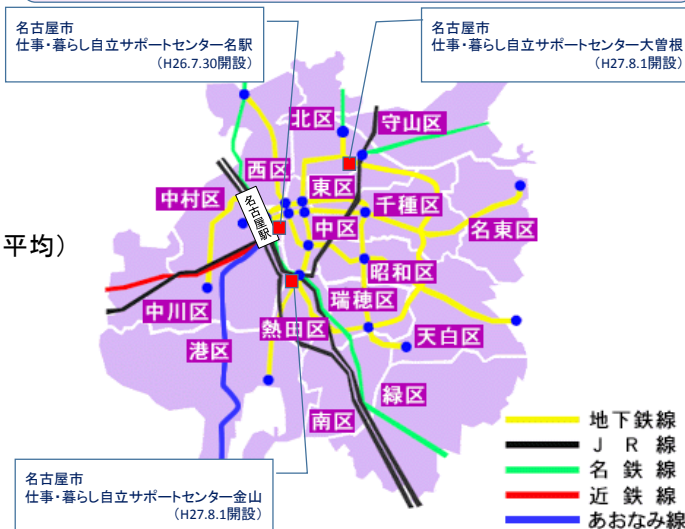
センター長兼主任相談支援員 大熊宗麿

名古屋市の概況

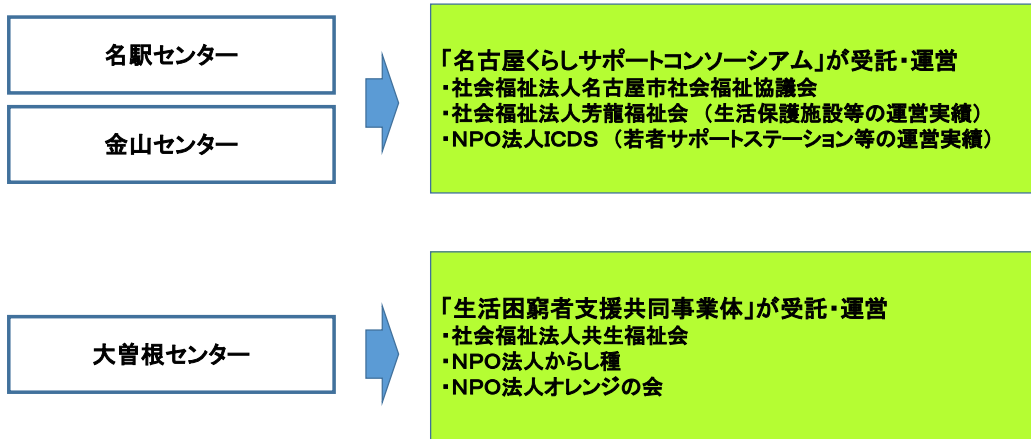
アクセスの面から、JR、私鉄、地下鉄が乗り入れる主要駅周辺にセンターを開設。どこのセンターを利用しても可。

行政区: 16区
人口: 2,274,371人 (H28.8.1)
世帯数: 1,081,153人 (H28.8.1)
高齢化率: 24.2% (H28.8.1)
生活保護受給者数: 49,341人 (H27年度月平均)
保護率: 2.17% (H27年度月平均)

名古屋の有効求人倍率: 1.99
※愛知県は1.55、全国平均は1.37
(愛知労働局「最近の雇用情勢H28.7」)

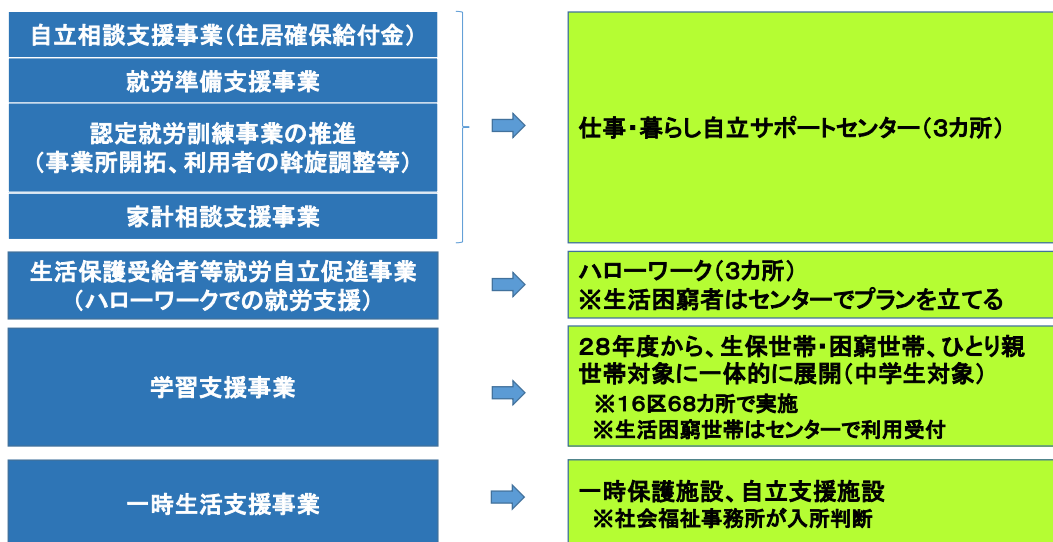


3センターの運営主体



3

名古屋市の生活困窮者支援事業の枠組み



4

名古屋市独自の取り組み

食料支援	→	フードバンクのNPO法人セカンドハーベスト名古屋と協力し実施(同一世帯原則3回まで)
司法書士相談(債務整理)	→	愛知県司法書士会と契約し、月2回の司法書士相談(主に債務整理)を実施 ※債務整理については、東海財務局多重債務相談、日本クレジットカウンセリング協会、法テラスなどとも連携
弁護士による法律問題相談	→	愛知県弁護士会と契約し、各センター2名の担当弁護士を設定 ※相談者の相談の他、職員の相談も受ける
就労準備支援事業における就労体験先への謝金	→	受入事業所に、1人につき1日5,000円の謝金を支払う
認定就労訓練事業受入事業所への協力金	→	雇用型で受け入れた事業所に、月勤務時間数に応じて2万円または4万円の協力金を支払う(1人につき3回まで)
臨床心理士の配置	→	心理的側面の援助が必要な方の相談対応

5

名駅センターの職員体制

区分	職名	名駅センター	
		人数	所属
自立相談支援事業	センター長兼主任相談支援員	1名	名古屋市社協
	副主任相談支援員	1名	芳龍福祉会
	相談支援員	2名	名古屋市社協
	相談支援員(住居確保給付金担当)	2名 (週4日勤務)	芳龍福祉会
就労準備支援事業	就労準備支援員	2名 (うち1名週2日勤務)	ICDS
就労訓練事業の推進	就労支援推進員	1名	名古屋市社協
家計相談支援事業	家計相談支援員	1名	名古屋市社協
	心理相談支援員(臨床心理士)	1名 (週1日勤務)	ICDS
	事務員	1名	名古屋市社協

6

相談＝まずは「聴く」「一緒に考える」ことから

名駅センター 相談支援の5つの基本姿勢

- ① 多様な相談を「傾聴」「受容」「共感」で受け止める
⇒対象を限定せずに幅広く相談を受け、とにかく「聴く」「受け止める」。
- ② 本人の「自己判断」「自己決定」を尊重する
⇒本人の意思を確認しながら支援を進める。押し付け支援はしない。
- ③ 他機関につなぐ場合は丁寧に「つなぐ」
⇒他機関につなぐ場合は必ずセンターから連絡を取り、相談・支援が可能か確認したうえでつなぐ。必要ならば同行する。たらい回しにしない。
- ④ 他の機関・団体と連携・協調での支援を展開する
⇒センターだけで解決できることは少ない。連携・役割分担して対応。
- ⑤ 「フットワーク」と「ネットワーク」を駆使する
⇒手間を惜しまない。関係機関や団体と顔の見える関係をつくる。



面談時には必ずお茶をお出しします。
これでホッと一息。

7

就労準備支援事業の取組

(1)対象者像

- 働いた経験がほとんどない
- 離職後ブランクがある
- 長期間のひきこもり状態(昼夜逆転などの生活)
- コミュニケーションや対人関係面で不安がある
- 働く必要性は感じているものの、「意欲」がない



ただちに就職活動を行うことに「自信がない」・「不安がある」方や日常生活や社会生活上の課題がある方

ですが... 置かれた状況、成育歴、意欲、能力など十人十色。人との関わりを苦手としている人も多い。「集団」ではなく「個別」の支援の方が本人も受け入れやすい。

8

(2) 就労準備支援のメニュー

① 生活自立訓練メニュー

○サポートセンターへの定期来所

- ・面談を重ねながら支援員との信頼関係構築や就労意欲の醸成を目指していく。
- ・家に閉じこもりがちな方などは、まずは約束して来所するところから。
- ・面談(雑談)の中などから生活状況を把握し、課題のフィードバックなどを行う。
- ・心理面での支援の必要性があれば臨床心理士による面談も。



○手芸や工作などの取り組み

- ・本人の楽しみや趣味を広げるなどの目的だけでなく、活動を通じて課題の整理や本人の能力面の評価にも活用している。
- ※写真はモビール作り



○史跡散策ウォーキング

- ・生活のリズム改善と体カづくりを目指して実施している。



9

② 社会自立訓練メニュー

○ボランティア活動体験

- ・啓発物品の配布などのボランティアを通して、人と社会との接点をつくる



○社会生活に必要なスキルアップトレーニング

- ・パソコン講座(単なる技能習得だけでなく、活動を通じて課題の整理や能力面での評価にも活用している)



○会社への飲食店マップ配布

- ・近隣の会社を訪問し、飲食店のクーポンが掲載されているマップを配布する活動。挨拶やマナーを身に付けるとともに働いている人たちの姿を見ることができる。※最近実施始めました。

10

③就労自立訓練メニュー

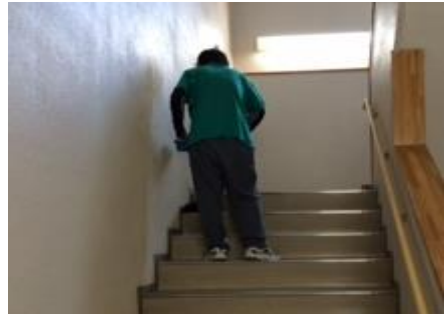
○自己理解と就職活動スキルアップ

- ・自己分析ツールにより自己理解を促す。
- ・履歴書作成・添削、模擬面接などによるスキルアップ



○就労体験

- ・一般事業所において、就労体験の機会を提供
 - ※就労体験の協力事業所には、一人あたり1日5,000円の謝金を支払
 - ※認定就労訓練事業の利用も一連の流れで検討
- ・平成28年8月末現在 54事業所の登録
 - ※業種は物流、清掃、飲食、介護、警備など



○自発的な就職活動のサポート

- ・ハローワークへの同行支援
- ・求人誌やインターネットでの求人検索
- ・職業紹介事業の実施(主に就労体験先からの求人紹介)

認定就労訓練事業の推進

○「支援付き就労」と銘打って、就労準備支援事業における就労体験先、認定就労訓練事業受入事業所を一体的に開拓

○就労準備支援(就労体験)、認定就労訓練事業を一連の流れと捉えて支援する。もちろん就労準備支援のみを利用して就職していくパターンもある。

○平成28年8月末時点で25事業所を認定



心の拠りどころづくり

就労だけを目指すのではなく、いつでも頼れる友人や居場所をつくれればと「名駅くらさぽサロン」を開催しています。



どなたでも参加OK!
参加無料
名駅くらさぽサロン
◆開催日 平成28年10月13日(木)
12月9日(金)
平成29年3月29日(水)
◆時間 11:00~13:00
◆場所 名駅センター5階
お茶を飲みながら、ゲームや簡単な雑談、工作などでもできます。
お気軽にお越しください。
お持ちしています!
当日は、お楽しみ企画も予定しています!
【お問い合わせ】
名古屋仕事・暮らし自立サポートセンター名駅
〒480-0003 名古屋市中区立寄町1-5-17 ネットプラザ名駅ビル5階
TEL:052-446-7333 FAX:052-446-7555
MAIL: sigata.kurasa@support-nagoya.jp



就労準備支援事例紹介

- 1 20年来就労経験のない方の就労に向けてのサポート
- 2 高校卒業後30年引きこもっていた方の就労に向けてのサポート
- 3 人目が気になり他者との関わりに不安を持っている方の就労に向けた支援
- 4 一度も就労経験のない40代女性の障害手帳取得、就労支援
- 5 離職時のトラウマから一歩が踏み出せない40代男性の就労に向けた支援

自立相談・就労準備・就労訓練一体型のメリットを活かして

■「チーム支援」を意識

- ・初期相談から就労準備支援を視野に入れた面談が可能(同席面談)。ただし、本人がすぐに「就労の準備」に向きあえる状態かどうかの見極めが必要。
- ・情報共有が容易で、本人の状況変化を随時把握でき、3事業を絡めた一貫した支援が可能。当センターでは毎日終礼を行い、利用者の情報共有と今後の支援の方向性や対応などを職員間で意見交換している(担当職員以外からもアイデアが出てきます)。
手帳の取得に動く場合などは、相談支援員、就労準備支援員、臨床心理士が打合せを重ね、親への説明、医師とのやりとり、手続きの同行等役割分担しながら対応している。
- ・就労準備の就労体験事業所と認定就労訓練事業所を一体的に開拓するとともに、就労体験・就労訓練を一連の流れで利用できるよう心掛けている。

15

キーワードは「オーダーメイド」、「自己肯定感の向上」

利用者は、置かれた状況、成育歴、意欲、能力など十人十色。本人の状態や希望に合わせて支援の内容をオーダーメイド的に組み合わせながら、「本人自らの力」で自立した生活ができるようサポートする。

利用者は、親兄弟に働かないことを指摘された経験があったり、後悔、自責など自己否定的な複雑な感情を持っている場合が多い。自己肯定感を高めることを意識した支援が重要。
「就職させること」が目的とならないよう注意が必要。

16